



協議会事業

子育て・青少年育成部会

「耳なし芳一」のおはなし

8月21日(土)に赤間神宮で、地域の怪談である「耳なし芳一」をより深く知るためのイベントを開催しました。暑い日でしたが、子供24名、大人22名、計46名の参加がありました。

当初は各小学校から歩いて集合する予定でしたが、今夏の暑さを考慮し熱中症の危険を避けるため、予定を変更して集合責任者の車を使っでの集合となりました。

境内では、参拝を済ませた後宮司さんのお話を聞き、芳一堂を見学しました。その後、龍宮殿に移動し、迫力満点の耳なし芳一の紙芝居を鑑賞したり、本物の琵琶に触って演奏体験をしたりしました。初めて琵琶に触った子供たちでしたが、30分の練習で簡単な曲を弾けるようになる子もいました。また、琵琶演奏家による平家物語の弾き語りはとて臨場感があり、芳一もこのような演奏をしたのだろうか、思いを馳せるひとときでした。

その後クイズ大会を行い、夏休みの宿題に使えるように、耳なし芳一関連の資料や当日の写真などを配布して終了となりました。参加者の皆様、お手伝いして下さいました皆様、ありがとうございました。

開催日時／8月21日(土) 開催場所／赤間神宮



協議会事業 地域づくり部会 ～地域力アップを目指す～

北浦街道探訪記

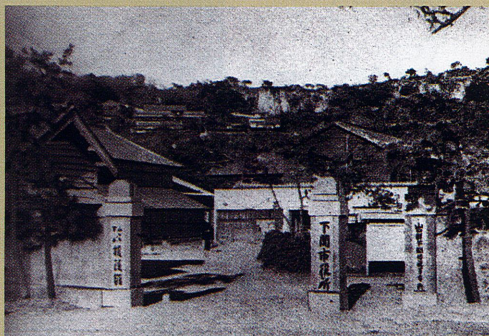
下関市役所本館(昭和三〇年二月一〇日開庁)は、目下解体され新庁舎の建設が進められていますが、それ以前は昭和二十一年一月一日より昭和三〇年二月まで赤岸通り北東、現在の社会福祉センターの一角(下関重砲兵連隊・七四部隊跡地)に仮住居。市役所に関連して司法書士・弁護士・市営住宅・下関商業短期大学・新聞社・援護館・済生会病院等と多くの関連施設が周辺をとりまいていた。

当時の赤岸通りの賑わいは今でも語り継がれ、名残が伺えます。ところが、昭和三十七年四月に棕野トンネルが開通すると一変。車は田中川沿いの県道を通るようになり、赤岸通りは幸町・奥小路・赤間・唐戸へ向かう買物道路や散策するに相応しい遊歩道となりました。

一度まち歩きをしてみませんか？

シリーズ全4回／第2回

写真及びキャプションは「しものせきなつかしの写真集」より転載。



旧市役所庁舎①(昭和二〇年代)



旧市役所庁舎②(昭和二〇年代)

昭和(一〇)年七月二日の空襲で市庁舎は全焼し、下関商工会議所・王江国民学校へ移ったのは、下関商業短期大学の学舎として使われ、西部第七四部隊跡地(貴船町の現社会福祉センターあたり)。

■編集部より訂正とお詫び

中東通信vol.11号中面右ページの協議会事業、視察・研修報告会で表題及び文中にて「勤興まちづくり協議会」と表記していますが、正しくは「勤興まちづくり協議会」です。訂正とお詫びをいたします。